



第20号

牛田学区社会福祉協議会

発行責任者 難波 照雄

TEL&FAX 082-227-1952

E-Mail : usita-syakyou@

sky.megaegg.ne.jp

若い力で地域のために貢献

広島女学院大学 副学長 桐木 建始



広島女学院は1886(明治19)年にキリスト教主義の女子教育を実践する学校として設立され、昨年10月に130周年を迎えました。大学が牛田山に開学してからは、やがて70年になるうとしています。

本学は、自由と自立の精神をもち、平和を愛し、地域社会と国際社会に貢献する女性を育てる教育を一貫して行ってきました。ただ、これまでは地元との連携が十分に進んでおらず残念に思っておりましたが、一昨年、牛田学区社会福祉協議会の難波会長様、木原副会長様にお目にかかれたことを契機に、連携が実現し大

変嬉しく思っ **栄養満点教室！料理教室** しております。

2015年10月の「福祉のまちづくり部会」に11名の学生と4名の教員が参加させていただき、高齢者・障がい者部会、子ども福祉・教育部会、商店街活性化部会のご協力を得て本格的な活動を開始しました。

これまでに、「小学校で遊ぼう」へのボランティア参加、65歳以上の対象の「栄養満点教室！料理教室」、小学生対象の「旬の野菜を使ったお菓子教室」などを実施し、今年「子ども防災料理教室」「牛田防災料理教室」を開催させていただく予

定になっています。今後も学生たちが力を発揮できる場をさらに広げていきたいと考えています。

広島女学院大学は、2018年度から学部・学科を新しくして、これまで以上に活動的な学生を育てていきます。全ての学科に地域連携の授業を設けて、学生たちをどんどん地域に出していきますので、是非この若い力をご活用ください。



小学校で遊ぼう

「福祉のまちづくりプラン」取り組み状況

牛田学区社会福祉協議会

平成25年4月から始まった「牛田学区福祉のまちづくりプラン(第1期)」(実施期間：平成25～29年度)の具体化は、本年度、最終年度を迎えます。

これまでの4年間、7つの部会と広報委員会の取り組みにより、その成果が地域住民の皆様方にも見えるものとなっています。

取り組みでの大きな特徴は、社協構成団体(22町内会・20学区団体)の代表者等に加え、地元の広島女学院大学・比治山大学の両大学から、大勢の先生・学生の皆さんにまちづくり部会へボランティア参加いただき、経験や学ばれた知識・スキルを活かし、部会での議論や実践の場で積極的に、プランづくりや具体化の牽引役を担っていただいていることです。

各部会での主な取り組みと成果

○ 総務部会

生活便利帳の作成配布、牛田旭終点ローリーの再整備

○ 高齢者障害者福祉部会

救急医療情報キットの配布、見守り活動・健康・料理教室の開始

○ 子ども福祉教育部会

牛田小学校で遊ぼう実施(36回)、牛田小学校見守り隊創設(78名)、子ども防災料理教室の開講

○ 安全安心交通部会

監視カメラ設置(学区内3カ所)、自主防災会規約・自主防災計画の策定、地区防災マップ作成(47ロック11町内会)

○ 環境衛生美化部会

一斉清掃の実施、牛田小学校花壇造成と花苗植栽

○ コミュニティ部会

あいさつ運動ポスター作成・掲示、あいさつ交差点実施

○ 商店街活性化部会

道路愛称(学区内12道路)命名と看板案内板設置、おぼろぎデザイン街路灯設置(おぼろぎ道路等24カ所)

○ 広報委員会

「社協だより うした」の定期発行(年4回)

このように成果がたくさんありますが、積み残しの課題も多くあり、最終年度の本年度は、各部会において、その具体化と平成30年度から始まる第2期プラン(平成30～34年度の5年間)で取り組むべき課題・具体策等を協議検討し、本年度中に取りまとめることとしています。

地域住民の皆様方には、今進んでいる牛田学区の「福祉のまちづくり」への思いやご意見等をいただき、これからのまちづくりの輪が広く大きく膨らめばと思います。

(副会長 木原 政弘)

社協構成団体のまちづくり・活動状況 PART I

町内会の取り組みや逸話など紹介!!

全部で22ある町内会から今回は、5つの町内会の自慢やちょっといい話などをお伝えします。



役員後継者 高齢化で苦慮

旭二丁目東町内会

旭二丁目東町内会は、西に見立山、北は牛田山に連なる山並みに、東は早稲田神社の小高い丘に囲まれて、ほぼ全域が南向きで日当たりのよい谷間に開けた地域です。地形的には「土砂災害危険箇所」に大半が指定され、防災に不断の関心が怠れない地域でもありますので、山際の地域は急坂道が多く、全域坂道ばかりと言うのが特色です。

毎日の通勤や通学、買い物などの行き来には大変ですが住めば都であり、足腰の鍛錬になると頑張っておられます。女性や高齢者には難儀なので、電動シニアカーが多く利用されているようです。



早稲田神社から望む旭二丁目町内
後方は見立山、牛田山の山並み

町内の業務は、現役員の懸命の努力により何とか滞りなく遂行されていますが、役員は長期化、高齢化しています。若い活力ある後継者の選

任を急務として努力を続けていますが、未だ引き受け手がなく、このままでは近い将来町内会が消滅すると苦慮いたしています。

昨今の定年延長等65才位までの就労で、ましてや若者は、非正規労働など過酷な状況に置かれています。

ボランティア活動に意欲が少なく、「我ら世代が作った社会」高齢者が頑張らなくてはと思っていますが、自分自身現在病気と向き合い、他の役員は超高齢で辞められた役員の兼務にての活動です。

他の町内会はどのように対処されているのか、町内外の皆さん良いお知恵を提供して頂けたらと思います。



(会長 諫早 良雄)

広島駅・八丁堀に近く、今後の発展が見込まれる牛田

東三丁目町内会

牛田東に住む私は牛田小学校を卒業後、幟町中学校に進学し、毎日桜土手を通して大須賀、柴橋を渡り、約45分徒歩で通学していました。

暫くして牛田中学校が建設され、牛田学区の生徒は比較的近い牛田中学校へと通うようになりました。

昭和30年頃はまだ牛田大橋がな

く、八丁堀からのバスは神田橋を通り、今の牛田旭の停留所までの運行でした。神田橋の東詰めにあった派出所、池田薬局がランドマーク。ここから続くバス通りは今と同様幅員が狭く、離合には大変なテクニックを要していました。

運転手は途中で窓を開けて右手で

バックミラーを倒して離合したのですが、それが懐かしく思い出されます。モケイ堂をはじめ、大下豆腐店など多くの店で賑わっていたもので

す。さて、牛田南から東に今はバス通りになっている国交省管轄一級河川、通称二又川の土手が広がります。

春には情緒ある桜土手として親しまれていましたが、川床が高くて多量の排水を賄えず、大雨時にはよく氾濫していました。

一級河川のため、工事までに時間がかかりましたが、今では川床が下がり大雨時の排水も問題無く、暗渠部分は道路として利用されています。

この土手を全て片側二車線にすれば、牛田地区の更なる発展に繋がると思います。

(会長 中川 潤洞)



旧牛田交番跡地から望む、左:神田橋 右:神田橋通り

会長交代 お世話になりました

早稲田二丁目南町内会



我が家の先祖が、竹原で初代の寺本 兵庫の守忠直から7代目の長男忠義が宝暦7年死没後、次男 林次が初代として牛田に移住したのは、寛永(西暦1744)の頃らしい。屋号は竹原より移った為に竹原屋と名付けたようです。姓の竹本は、竹原屋の竹と寺本の本を取り入れました。

初代 林次 享和3年、二代 耕造 嘉永4年、三代 與市 明治26年、四代 林蔵 大正14年、五代 米吉 昭和34年、六代 眞登 昭和20年、其々死没しています。七代を私が継いでい

ます。以上我が家の経歴です。

早稲田二丁目南町内会の町内会長の役職を受けましたのは、会社経営を36年余り終えた、平成7年頃より先代の平尾氏より無理矢理に託されて以来20余年になります。最近はず副会長が空席で、町内会運営は特に忙しくなっているところです。

昨年7月27日に脳幹出血により右半身が不随になり広島市民病院、広島市立リハビリテーション病院に112日間入院治療したため、町内会に大変迷惑をかけました。昨年11月15



早稲田神社から望む早稲田二丁目町内

日に退院しましたが、今は自主リハビリに専念している現状です。

次年度の会長を選出していただきよりよい町内会に指導願います。

(会長 竹本 哲郎)

ガレージセールに 野外音楽祭、趣味の作品展

南二丁目町内会



当町内会の年間の諸行事を紹介します。

毎月第一金曜日午後七時半より集会所で、町内会の役員・幹事・組長の参加を得て定例会を開催し、皆さんから周知事項、検討課題等の意見を協議し、各世帯にお知らせとご協力をお願いしています。

毎月第一と第三日曜日には、新聞・雑誌・缶・ペットボトルなどの廃品を有価資源として、回収業者さんと契約して町内会の収入金としていま

す。現在106万円となっています。

年に一度は、二又川の清掃を実施しています。



二又川

春にはガレージセールを開き、各家庭で不要なタオル・コーヒーカップ・電気製品・置物など、中古品でもかまいませんので出品していただき、必要とされる方に買っていただいています。残品については、早稲田神社の春祭りに出品・販売しています。

夏には夕方から野外音楽祭を開催し、皆さんで楽しんでいます。3年に一度は、趣味の作品展も実施しています。

このような活動や行事を、町民一丸となって今後も継続していきます。

(会長 河野 昭人)

転勤族ですが、地域交流頑張ります

本町六丁目1町内会



京橋川の最上流に架かる工兵橋の北側に位置する当町内会は、国家公務員合同宿舎「牛田住宅」内の町内会です。

牛田住宅は総戸数780と国家公務員宿舎としても大規模な住宅であり、入居する住民もいろいろな官署に所属し、入居の形態も世帯で生活する者、独身または単身赴任で生活する者と住民構成が多様になってい

ます。その住民の大部分が転勤等を伴うために、数年のうちに転居してしまうのが現状です。



工兵橋と国家公務員合同宿舎

当町内会の活動としては、4月に「町民運動会」、10月には「牛田早稲田神社の秋祭り子ども神輿」等を毎年参加させていただいているようです。

このような活動を通して牛田地区の一員として地域の皆様と交流できるよう、当町内会としても協力して行きたいと考えておりますので、今後とも、よろしくお願いします。

(広報委員 保美 秀彦)

社協構成団体のまちづくり・活動状況 PART II

各種団体の取り組み = 地域に貢献



全部で20ある学区団体から今回は、5団体の活動状況をお伝えします。

ふれあい活動を通じて、異年齢の方達と交流



牛田中学校区ふれあい活動推進協議会

皆様には日頃より、牛田の子ども達の見守り、声掛け等のご協力をいただきありがとうございます。感謝しております。

牛田中学校区ふれあい活動推進協議会は、牛田中学校が主体となり、牛田小学校・牛田新町小学校・広島市立広島商業高等学校との交流を持ちながら、青少年健全育成連絡協議会・社会福祉協議会・体育協会・子ども会育成協議会・民生委員児童委

員協議会・保護司会・牛田公民館・東区スポーツセンターの方々と情報交換を行っています。

ほおずき祭り・盆踊り・秋祭りには、夜間声掛け運動として、パトロールを行っています。

夏休み前に、地域美化活動として、新牛田公園・牛田公園・太田川土手・通学路等を清掃しています。(2年続けて、雨のために中止でしたが、今年こそは…)

花いっぱい運動として、牛田中学校の美化委員が中心となって、東区役所から提供された花を、プランターに植え付けしています。花は、通学路や学校の正面玄関等に設置し、地域を潤しています。

ふれあい活動(体験活動)として、地域の行事やイベント等において、児童・生徒が事前準備や企画運営等のお手伝いの機会を与えていただき、異年齢の方達と交流をしています。

(会長 吉村 圭子)



交通事故対策 住民にも問いかけ

東区交通安全推進隊(牛田ブロック)

交通安全推進隊の役割としては、東区全体の交通安全の指導・見守りを行っています。

東区コミュニティ交流協議会と共に交通安全のために努力しています。

つい先日も新工兵橋東詰めで、戸坂から八丁堀方面に行こうとして渡り始めた普通車が欄干にぶつかって運転手が死亡、その後も同ような死亡事故がありました。

その対策をするためには、どのようにしたら良いか、と東警察署から6名、東区役所から6名、牛田の交通安全推進隊と社会福祉協議会から

1名ずつ集まり話し合いをしました。警察署長が推進隊に一番に話しかけられました。

「この事故を知っていますか、事故の対策はどのようにしたらよいですかね」と問いかけられました。

「固いガードレールでなく、柔らかい土嚢にしたらどうでしょうか。」と話したら皆さんも賛成されました。

その後のことは専門のお方にお任せします。

牛田の推進隊の活動範囲が広いので、現在の人数では少なくて困っています。ご協力をお願いします。



新工兵橋での事故現場

現在、ガードレールは修復され、土嚢の代わりにクッションドラムを設置

(ブロック長 能見 敏行)

わが幸は わが手で

東区母子寡婦福祉会(牛田地区)

母子会の始まりは、昭和24年に産声をあげました。昭和63年に「財団法人広島市母子寡婦福祉連合会」に改称し現在に至っています。

ひとり親家庭(母子、父子、寡婦)の生活の安定と、子どもの健やかな成長を願い活動している福祉団体です。

私たちは、いろいろな行事を通してそこに関わっている人たちとのふれあいを大切にしながら、時には力になり、時には力をいただき、助け、助けられながら、輪を広げています。

活動内容

- ひとり親家庭学習支援事業(小学4年生～中学3年生)
- 母子家庭等就業支援事業
(パソコン、簿記、介護、医療事務)
- 親子ふれあい料理教室
- 三世代交流クリスマス会
- 入学おめでとうランドセル配布等・・・

次世代を担う子ども達の一層の生活向上を目指して活動しています。

こんなとき、いつでも
ご連絡ください!

- 子どもと参加できる楽しい行事がありますか
- 同じ立場の人と話したい
- 弁護士さんに相談したいけど費用が心配で・・・
- 就職に有利な資格・技能のこと、転職のこと



(会長 大隅 千鶴)

子ども・障がい児者・高齢者のために

社会福祉施設連絡協議会

社会福祉施設連絡協議会は、子ども・障がい児者・高齢者のそれぞれの社会福祉施設や団体に構成された協議会です。

構成団体は、子どもの分野では牛田本町5丁目で保育を行う「認定子ども園広島光明学園」が所属しています。地域に根ざした様々な行事や保育を行っています。



障がい児者の分野では、牛田公民館を活動拠点として毎月一回土曜日または日曜日に、障がい児者やその家族と集まって遊びやイベント等を行う「ウルトラマンキッズ」が所属しています。

高齢者分野では、牛田本町5丁目が高齢者介護を行う「特別養護老人ホーム光明」が所属しています。ご利用者の暮らしをサポートさせていただくと共に、地域での活動にも力を入れており、牛田の行事のお手



伝いの他、認知症カフェやミニデイ等、介護予防の教室の開催や認知症サポーター養成講座の講師派遣等もさせていただいております。また、牛田本町4丁目にある高齢者の総合相談窓口として開設している「地域包括支援センター」も所属しています。

これらの各分野の施設や団体が所属し、日々それぞれの分野で活動を行っています。これからも社会福祉施設連絡協議会は牛田の福祉の発展と地域貢献に取り組んでまいりますので、よろしくお願い致します。

(広報委員 福本 秀雄)

広島県「社会を明るくする運動」啓発標語

「待ってたよ 君の居場所が ここにある」

東地区保護司会牛田ブロック会

牛田中・早稲田中学校区には13名の保護司がいます。犯罪や非行をした人たちの立ち直りを地域で支えていく「更生保護」活動のお手伝いをしています。

保護観察対象者との面接や指導・生活環境調整は勿論ですが、そのほか犯罪予防活動にも取り組んでいます。更生保護女性会の皆さんと一緒に、公民館まつりやおおずき祭りパザールでの薬物乱用防止キャンペーン



牛田公民館まつりでの、薬物乱用防止キャンペーン

おかえり。



活動や、ミニ集会、中学校などでの朝のあいさつ運動を通して、その大切さを強く感じています。

また、中学生・小学生に「社会を明るくする運動」の作文や標語を書かせてもらっています。子どもたちひとりひとりが「できること」を一生懸命考えている姿に胸打たれます。

タイトルの標語は、みごと!平成28年度の最優秀賞(広島県知事賞)に選ばれた牛田中学校の奥野恭子さんの作品です。

大人も子どもも声かけあって、もっともっと笑顔いっぱい牛田の街にしたいですね。

(広報委員 奥田 洋子)

平成29年4月～6月 行事予定

月日(曜日)	行 事	団 体 名	場 所・時 間
4月 1日(土)	勸学祭	早稲田神社・早稲田神社崇敬会	早稲田神社 13:00～
10日(月)	牛田小学校入学式	牛田小学校	牛田小学校 10:30～
10日(月)	牛田中学校入学式	牛田中学校	牛田中学校 13:00～
15日(土)	小学校で遊ぼう	福祉のまちづくり・こども福祉教育部会	牛田小学校 9:00～
16日(日)	早稲田神社春季例大祭	早稲田神社	早稲田神社 9:00～
23日(日)	第54回牛田学区町民運動会	牛田学区社会福祉協議会・体育協会	牛田小学校 9:00～
5月 5日(金)	子どもの節句祭	早稲田神社・早稲田神社崇敬会	早稲田神社 9:00～
13・14日	第28回牛田公民館ふるさと祭り	牛田公民館・ふるさと祭り実行委員会	牛田公民館 9:00～
13日(土)	小学校で遊ぼう	福祉のまちづくり・こども福祉教育部会	牛田小学校 9:00～
25日(木)	牛田学区社会福祉協議会通常総会	牛田学区社会福祉協議会	牛田集会所 19:00～
28日(日)	第38回東区民スポーツ大会	東区民スポーツ大会実行委員会	東区スポーツセンター他 8:20～
6月10日(土)	小学校で遊ぼう	福祉のまちづくり・こども福祉教育部会	牛田小学校 9:00～
24日(土)	牛田中学校体育祭	牛田中学校	牛田中学校 9:00～

※子育てにこここ広場牛田、子育てモーモー広場、いきいきサロン、牛田学区地域文庫貸出は、通常通り開催しています。

1月～3月 こんな行事がありました

平成29年新年互礼会

主催：牛田学区社会福祉協議会

1月7日(土)11時、牛田集会所2階ホールにおいて、社協顧問・役員・理事及び各町内会役員等90余名が参加し開催。会長・顧問の挨拶、乾杯に続き、折詰を肴に社協構成団体相互の交流・懇親を図りました。

第5回牛田かうちゃんピース・AI・IOT・防災文化フェア

主催：牛田三学区活性化フォーラム

(通称：かうちゃんフォーラム)

3月5日(日)10時から、牛田小学校の会場で「防災」と「平和」をテーマに開催。町と商店街の活性化、食・文化・スポーツの振興等を図り、町民の絆を深めました。消防音楽隊やゲストによる演奏・カーブ応援ゲストや、消



防車・地震体験車の展示の他、講演や出店など日頃体験できない多彩な催事に、来場者は大喜びでした。

第39回牛田親子マラソン大会

主催：牛田連合成年会

2月26日(日)9時半、太田川ランニングコースで開催し、1,060余名が参加。親子(乳児・幼児)/小学生/中学生/一般熟年者別に、距離は0.5/1.6/3.3kmと、年齢・体力等に合わせコースを工夫。好天の下、親子コースでは子どもが親に速く走るように声を掛けながら、がんばる姿が印象的でした。上位入賞者32名が表彰。



第15回牛田町民ウォークラリー大会

主催：牛田学区体育協会

3月12日(日)、牛田小学校正門をスタート・ゴールに町内のコース3.2kmで開催し、18グループ58名が参加。

「マ図」を頼りにグループで町内を巡り歩きながら、所要タイム(満点100)と、町に関わる様々な問題の回答(満点100)の合計得点で順位を競いました。「あんちび」チーム(3名)が166点で優勝。通学や買い物等で日頃歩くところ以外では、新たな発見があり楽しみました。



編集後記 平成29年度が始まりました。本年度もよろしくお願ひします。

「社協だより うした第20号」をお届けします。

第17号から始めた社協構成団体(22町内会・20学区団体)の紹介記事は、今回の出稿で1町内会・1学区団体を除き、全て掲載させていただきました。弊紙が地域の皆様方や町内会・学区団体の新たな地域づくりの取組に、参考となればと思います。

本号からフルカラー印刷にし読みやすい紙面となり、『牛田の情報誌』として親しまれ、まちづくりにより関心を持っていただけるよう、社協構成団体の広報委員の皆様方と共に、頑張りたいと思います。

広報委員会

ご意見・投稿・お問い合わせは、
社協事務局へお願いします。

☎ 227-1952

(月～金午前中)

俳句、イラスト、写真など、皆さんの投稿を募集しています。